

◎高齢者福祉サービスの実施状況について(令和 6 年度)

1. 高齢者タクシー料金助成事業

令和 6 年度から、これまでの 85 歳以上の方に加え、75 歳から 84 歳までの方のうち、住民税非課税世帯で自動車運転免許証を保有していない方も基本料金助成の対象としました。

<タクシー料金助成事業の実績>

年度	発行人数	発行枚数	利用枚数	利用率	金額
R6(R.7.2 末)	1,984 人	51,046 枚	14,706 枚	28.8%	9,136,450 円
R5	1,606 人	41,262 枚	12,737 枚	30.9%	7,923,800 円

※ R6(R.7.2 末)の発行人数の内訳 85 歳以上:1,550 人 75 歳～84 歳:434 人

また、令和 7 年度から、85 歳以上の方のうち住民税非課税世帯の方に、基本料金助成に加え、年間12,000円の利用料金助成を実施します。

加えて、令和 7 年度申請時から、85 歳以上の基本料金助成については、更新手続き不要とし、助成券を郵送することで、利用者の負担を減らしました。

2. 高齢者短期入所事業

令和 6 年度は、高齢者虐待(疑い含む)の緊急避難で利用人数、利用日数が増えました。

<高齢者短期入所事業の実績>

年度	利用人数	うち高齢者虐待(疑い含む)	利用日数	金額
R6(R.7.2 末)	7人	3人	178日	1,296,374 円
R5	4人	3人	53日	367,767 円

3. 高齢者あんしん相談センター(地域包括支援センター)の機能強化

令和6年度のセンターへの相談件数は、令和5年度より少なくなる見込みですが、令和7年度以降のセンターに対する相談は、増加を見込んでいることから、令和 6 年度から、センターの機能強化のために、人員 1 名分の予算を増額し、地区の実情に応じた体制強化を

実施しました。また、ケースマネジメント能力の強化のため、市職員と各センターで計12回、個別の事例検討を行いました。

<高齢者あんしん相談センターへの相談件数>

年度	総合相談延件数	うち権利擁護件数
R6(R.7.2 末)	12, 882件	543件
R5	17,349 件	717 件

①予算増額分の主な用途

- ・看護師資格を持つ職員を雇用し、センター勤務の経験を積ませ、将来的にセンターの構成に必要な専門職(保健師)として採用
- ・プランナー2 名増員(社会福祉士資格あり)、令和 7 年度からセンターの管理者、社会福祉士として採用
- ・他地区でも保健師や社会福祉士を採用

②ケースマネジメント能力の強化のための個別の事例検討

全体的な傾向として、他の業務に時間を取られ

- ・ケースに関する情報量が少ない
- ・ケースの重要度に見合った、積極的な支援介入ができていない場合がある

→ 市としては、センターが限られた人員で市内全域をフォローしてくことを鑑みると、個々のケースの重軽により、より支援が必要な方にセンターの支援が届くよう、支援者支援を行っていきます。